

在外教育施設の特色化教育プログラム促進事業（AG+）

文部科学省プロジェクト 2022年度～2026年度

JOES（財団法人海外子女教育振興財団）が受託

①教育改革プログラム

研究テーマ1. グローバル化3.0時代に必要な基礎的資質・能力を育成するためのプログラム開発

研究テーマ2. 日本人学校における言語教育に関するプログラム開発

②教育DX推進プログラム

研究テーマ3. 日本人学校におけるインクルーシブ教育に関するプログラム開発

研究テーマ4. 多様化する補習授業校のニーズに対応したグローバル人材育成のためのプログラム

開発と補習授業校間のネットワークの形成

③グローバル連携拠点形成プログラム

研究テーマ5. 日本人学校におけるグローバルパートナーシップ形成のためのプログラム開発

補習授業校の特色を強化する方策

補習授業校

多文化
多言語

多様性の世界で
発揮する力を
育てる絶好の場

多様な生徒たち

・生活背景
・日本語力
・将来の夢

多様な先生たち

・立場
・経験
・得意なこと

1. 日本語を使い、伸ばす授業のアイデア、教材、指導技術の蓄積

2. 日本語を使い、伸ばす機会となるイベントの開発

3. デジタル教材、ICTの有効活用

4. 日本語の学習成果が目に見える評価法の開発

5. 補習授業校の学習成果を確認する卒業生等OBOG調査

補習校グループの活動

1. に関して

補習校ネット

授業研究会
初任者研修会
情報交換会

2～5に関して

イベント部会

部会委員6-7名
委員長 1名

ICT部会

部会委員6-7名
委員長 1名

評価法部会

部会委員6-7名
委員長 1名

OBOG部会

部会委員6-7名
委員長 1名

委員会 年間5回
公開研究会 1回
研究報告会 1回 年度末

5年後のビジョン

1. 授業の蓄積

多くの学習指導計画や教材が簡単に検索・利用できる。

2. 日本語イベント

日本語を学ぶモチベーションを高めるイベントが複数の補習校を結んで継続して行われる。

3. デジタル・ICT

ICTを利用する負担の少ない現実的な方法にアクセスできる。

4. 評価法

簡便な方法で、日本語を学んだ成果を確かめたり、学習活動の効果をふりかえったりできる。

5. OBOG調査

活躍する卒業生等OBOGの様子に触れることができ、補習授業校で学ぶ意味を実感することができる。

補習授業校に関する
情報にアクセスできる
総合的なサイトを
継続的に運営する。

教員だけでなく、保護者、生徒、その他の
関心のある人にも
利用してもらえるよう
にする。